

第16回運営推進会議 議事録

事務所名 勝央町社会福祉協議会通所介護事業所

開催日時 令和6年3月26日(火) 14:00～

開催場所 勝央町総合保健福祉センター 社協会議室

出席者

利用者	2名	役場職員	1名
地域代表	2名	社協職員	2名
有識者	1名		

協議事項

1. 令和6年度事業計画について

- 行事・レク・地域交流計画について資料を使い説明
 - ・体力測定は4カ月に1回から半年に1回に変更
 - ・おやつレクは、作ることが困難な利用者が増加の為、盛付やテーブル拭き、配膳、引き膳などの作業に変更する。
 - ・コロナの状況が和らいできているので、イベントの時に地域のボランティアに依頼をする機会を増やす。
- 年間研修計画について
 - ・感染症対策委員会年1回、虐待防止委員会年1回が令和6年4月から義務付けの為、年間研修計画に追加する。
 - ・BCP研修、訓練も追加の為、計画に追加する。

2. 出席者からの意見、要望、感想など

《利用者 S 様》

- ・隣になった人は誰でも声を掛けてくれる。
- ・スタッフ、他の利用者も優しい。
- ・話に乗ってくれる。
- ・運動は膝が痛いけど、皆と頑張れる。
- ・食事が美味しい。

《利用者 M 様》

- ・デイサービスの日を楽しみにしている。
- ・食事は何を食べても美味しい。
- ・コロナが流行し、地域の人と寄りあうことが無くなったが、ここに来て皆と話が出来て

嬉しい。

- ・ 工作などいろいろ考えてくれている。

《地域の方》

- ・ 動ける認知症が増えているので、家族間のやり取りが難しくなる。
- ・ パッと見認知があるようには見えない人が多い。どこまで理解できているか、どこまでできるのかがわかりにくい人がいるとどのように対応をしてよいかわからない。
- ・ 女性は長生きだから認知症も増えたのでは。
- ・ 認知症の自覚症状がなく不安な時がある。自分の予防として、歌の歌詞を覚えたりしている。
- ・ 仕事を引退し、何もすることが無くなると認知症になる不安があるので、自分の好きなことから、色々挑戦してみる。
- ・ デイサービスで人と話をするすることで、認知の進行が遅くなり、現状維持を保てるのかもしれない。
- ・ 健康寿命を延ばすことも必要。
- ・ 家族も難しい人が増え、対応が難しい時があるのでは？スタッフのメンタルも弱くなっているのではないか。

《役場職員》

- ・ 地域密着として地域との交流をして欲しい。
- ・ 子ども広場との合同行事など実施してほしい。（行事がある時は知らせてくれる）
- ・ 勝央苑との交流で、避難訓練を実施したいと話が以前あったので、今後考えてみても良いのではないか？

次回の開催予定 令和6年9月